



ミライの都市をめざす

議会だより

No. 87 2017年
3月定例会

発行：2017年5月

元気に泳げ 未来っ子!!

北谷町こいのぼり掲揚式

平成29年度一般会計予算	P2~3
平成28年度・29年度事業箇所	P6~7
陳情・抗議・意見書	P11
議決結果賛否一覧表	P12~13
一般質問16人が登壇	P14~29



我が町の家計簿

142億9,000万円

平成29年度一般会計予算

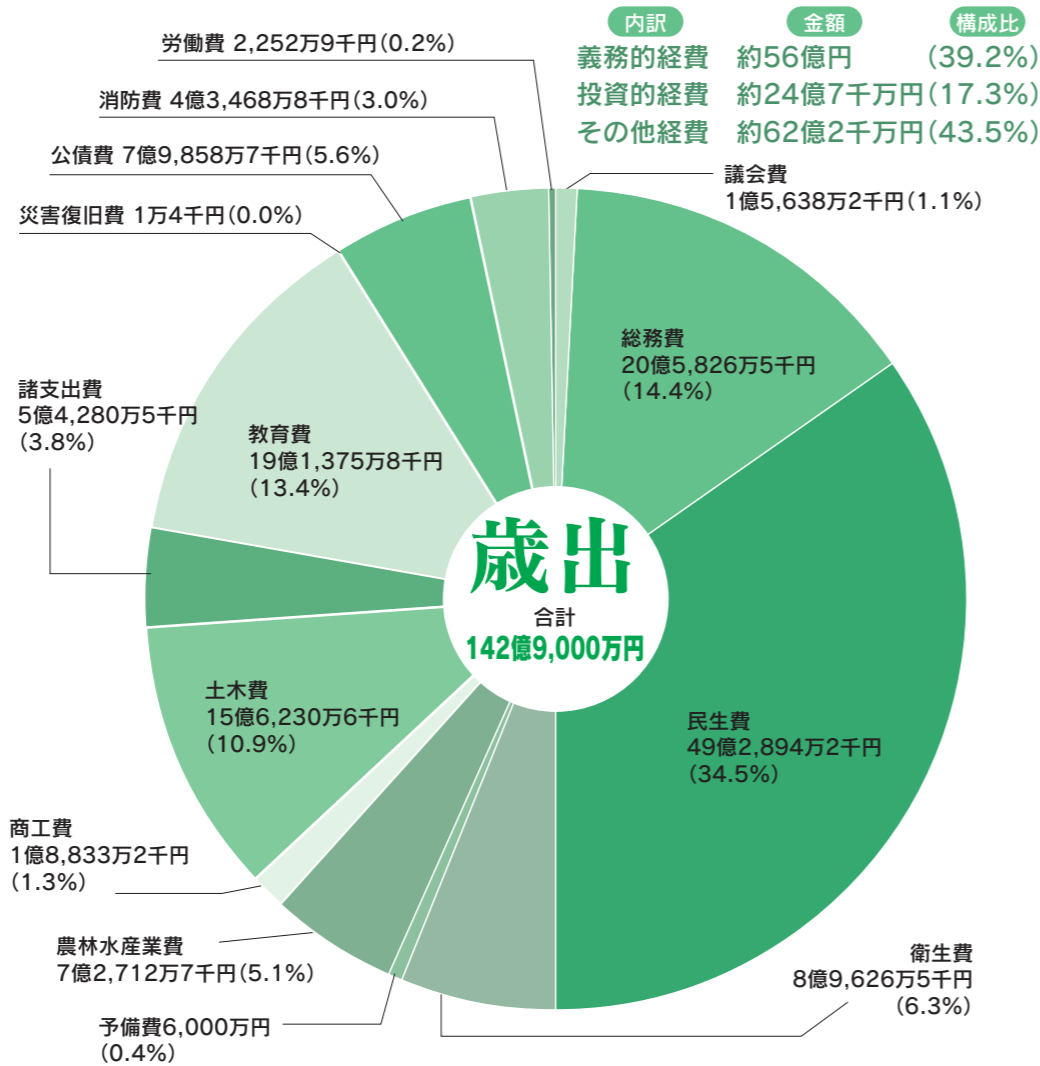
円のまちづくり



(対前年比9億2,000万円減)(一括交付金含む)

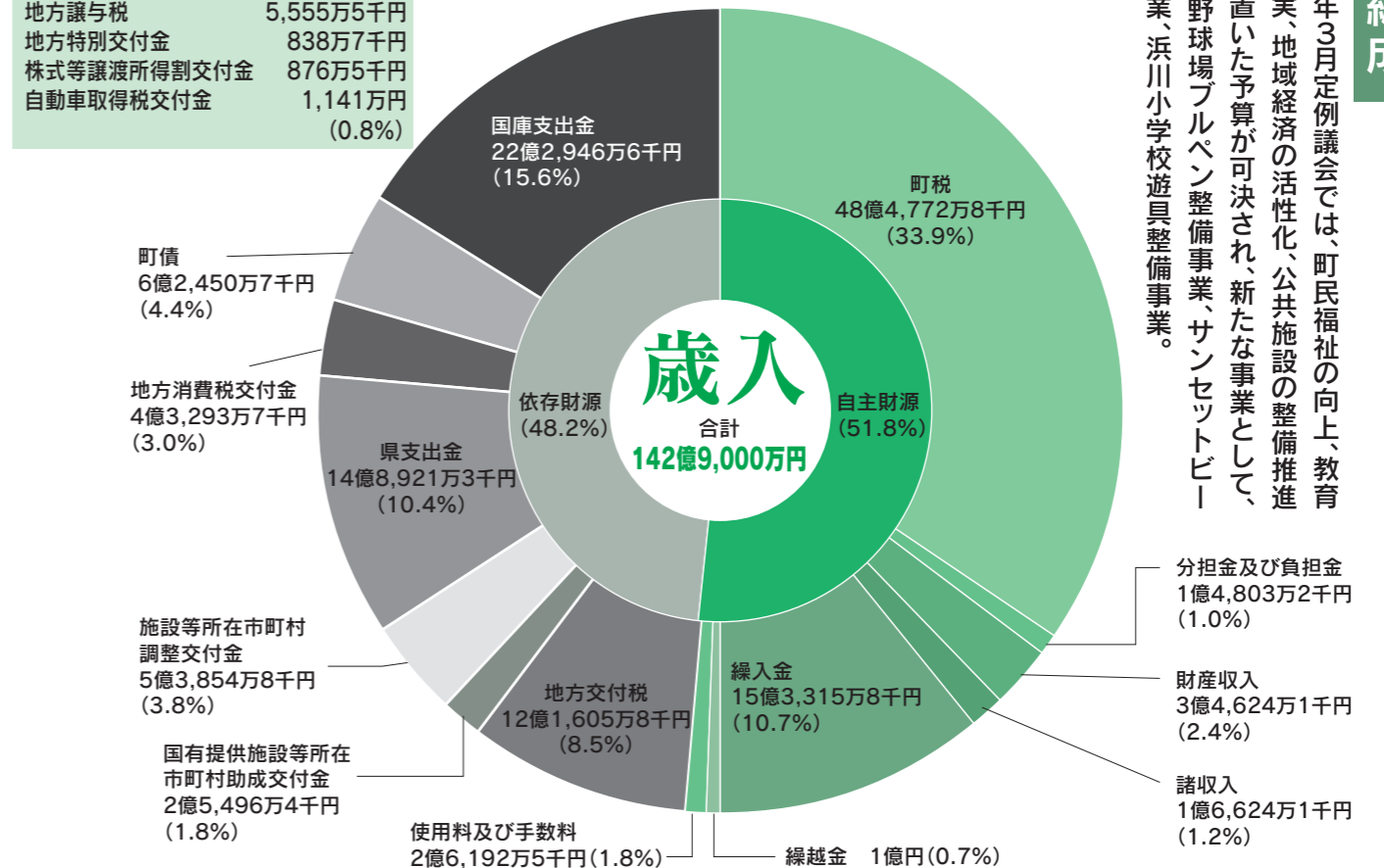
用語解説

- **自主財源**
町が自主的に収納することができる財源で財産収入・町税など。
- **依存財源**
国や県から割りあてられる補助金や交付金。
- **町税**
町民税や国定資産税、軽自動車税、入湯税、たばこ税など。
- **地方交付税**
一定水準の行政を維持するために必要な額を補償する財源で、国が交付する。
- **国庫、県支出金**
事業などの特定目的の財源として国、県から交付される。
- **国有提供施設等所在市町村助成交付金**
国有資産・施設等が所在する市町村に固定資産税の代替え財源として交付されるもので、一般に「基地交付金」と言われている。
- **施設等所在市町村調整交付金**
米軍資産、施設が所属する市町村の財政補給的な性格の交付金。
- **公債費**
借入金の返済をするお金。



寄附金	金額	構成比
配当割交付金	3千円	
利子割交付金	823万円	
交通安全対策特別交付金	291万1千円	
交通安全対策特別交付金	572万1千円	
地方譲与税	5,555万5千円	
地方特別交付金	838万7千円	
株式等譲渡所得割交付金	876万5千円	
自動車取得税交付金	1,141万円	(0.8%)

内訳	金額	構成比
自主財源	74億332万5千円	(51.8%)
依存財源	68億8,667万5千円	(48.2%)



予算編成
平成29年3月定例議会では、町民福祉の向上、教育環境の充実、地域経済の活性化、公共施設の整備推進に重点を置いた予算が可決され、新たな事業として、北谷公園野球場ブルペン整備事業、サンセットビーチ改良事業、浜川小学校遊具整備事業。

歳入予算増減のポイント

増加(対前年度比)

- ◎ **町税** (7千202万9千円)
新築家屋の増、及び入湯税。
- ◎ **国庫支支出金** (6千186万6千円)
認可保育所への支弁費に充当する私立保育所委託費国庫負担金。
- ◎ **沖縄振興公共投資交付金** (1億5千847万2千円)

桑江伊平土地区画整理事業、北谷第二幼稚園舎改築事業交付金、都市公園施設長寿命化対策支援事業交付金となっている。

- ◎ **基金繰入金** (4億3千217万5千円)

道路用地等購入費及び事業実施に伴う物件補償費へ充当する普通財産処分基金運用基金繰入金、桑江伊平土地区画整理事業に充当するキャンパス、桑江北側返還跡地まちづくり基金繰入金、フィッシュアリーナ整備事業に充当する浜川漁港多目的利用施設整備地区開発基金繰入金、特定駐留軍用地内土地取得事業基金繰入金の繰入を計上している。

減少(対前年度比)

- ◎ **普通交付税** (9千574万8千円)

基準財政需要額に若干の伸びがみられるものの、基準財政収入額の伸びが必要額の伸びを上回ったこと、及び国の財源不足により臨時財政対策債への振替額が前年度を上回ったことによる。

- ◎ **教育費国庫補助金** (8億3千111万9千円)
- 北谷第二小学校改築事業及び同併行防音事業が平成28年度で完了した。

歳出予算増減のポイント

増加(対前年度比)の要因

- ◎ **民生費**
- ◎ **社会福祉費** (1億2千211万2千円)
簡素な給付措置の延長に伴う臨時福祉給付金給付事業、年金生活者等支援臨時福祉給付金、国民健康保険特別会計繰入金。
- ◎ **保育所費** (1億2千995万6千円)
認可保育園の新規設置に伴う認可保育園支弁費。
- ◎ **建設総務費**
- ◎ **道路新設改良費** (7千816万5千円)
美浜無電柱化整備事業、桑江17号線新設事業、宮城1号線改良工事、上勢頭55号線改良事業、宇久殿中央線改良事業、防災拠点整備事業。

減少(対前年度比)

- ◎ **都市計画費** (1億310万7千円)
- ◎ **公園費**
- ◎ **教育費**
- ◎ **小学校費** (14億921万円)
北谷第二小学校改築事業と北谷第二小学校併行防音事業完了に伴う減。
- ◎ **文化費** (8千217万2千円)
町立博物館整備事業、伊礼原遺跡保存整備事業。



健康で生きいきと活躍できる 活気に満ちたまち!

— 特に力を入れる施策 —



夢が生まれ活気あふれる元気なまち

- 西海岸一帯の資源を活かした、「世界水準の都市型オーシャンフロント・リゾート地」の形成に向けインフラ整備等を推進し、更なる活性化を図る。
- 北谷町観光情報センターを発信拠点とした観光サービスの展開と観光プロモーションの推進。
- 町民が安全で安心な生活が送れるよう消費生活相談室の継続設置。
- ハローワーク等、関係機関と連携した就業支援。「ゆいワーク」等と連携し勤労者の福祉向上と高齢者の雇用促進に努める。
- フィッシャリーナ整備事業を推進し、観光漁業を含めた漁業経営の多角化を図る。
- 町民農園を活用した生きがいづくり。
- 駐留軍用地の返還と跡地医療の推進。

平和の心を育み、個性が輝くまち

- 平和の尊さを広め、平和で安らぎのあるまちづくりを推進。「広島・長崎平和学習派遣事業」や「戦争と平和についての講話会」の実施。
- 平和ガイドの育成、戦跡等の調査・保存に努める。
- 日米の両政府関係機関に対し、嘉手納飛行場周辺住民等の負担軽減及び嘉手納基地使用協定の締結を求めるとともに、住宅防音工事制度の拡充を要請する。
- 「北谷町男女共同参画推進条例」及び「第二次男女共同参画推進計画(改訂版)」に基づき行政と町民、事業者等が一体となって協働して取組む環境整備を進める。

自然とともに生きるまち

- 廃棄物の減量化、再利用化、再生利用及びクリーンエネルギーの活用に取り組む。

協働のまちづくりと行財政運営

- 町ホームページを効果的に活用し広報誌や広報無線等の充実を図り町民と行政の情報共有を推進。
- 経常経費削減と事務の効率化等を図るため、関係市町村と連携し広域行政の推進。
- 限られた財源を効率的、効果的に活用。

豊かな心と夢あふれる 教育・文化・スポーツのまち

- 幼稚園、小中学校において「学びのプロジェクト」を実施する。
- 学習支援体制として、学力向上学習支援員、放課後学習支援員の派遣。
- 国際性豊かな人材育成のためテレビ会議によるオーストラリアとの学校間交流、「英国派遣交流事業」等、諸施策を実施する。
- 各関係機関と連携して青少年の健全育成を強化する。
- 桑江総合運動場の全面改修など体育施設の環境整備の充実を図る。
- 国指定史跡伊礼原遺跡や町立博物館の整備を推進する。
- 学校給食センターの建替え事業推進。

誰もが住みたくなる快適で 安全・安心なまち

- 住居表示整備事業の推進。
- 地域特性を活かした景観形成の推進。
- コミュニティーバス導入事業の推進。
- 「橋梁長寿命化計画」、「下水道長寿命化計画」事業の推進。
- 白比川改修事業、北前地区護岸改修は、県や関係機関と連携して取り組む。
- 防災アドバイザーを配置し自主防災組織の育成支援。大規模災害時における避難場所等防災拠点整備の推進。
- 防犯リーダーの育成、防犯活動の推進。
- 地域の防犯組織設立&活動支援で安全で安心して暮らせる環境づくりに取り組む。
- 町民の生命と財産を守り、住みよいまちづくりのため交通安全運動の推進。

平成29年度 特別会計・公営企業会計予算

国民健康保険特別会計

47億894万2千円(前年比 1億300万6千円 約2.2%増)

主な歳入	国民健康保険税	7億7,981万5千円	国庫支出金	14億920万5千円
	共同事業交付金	13億9,471万1千円	一般会計繰入金	6億8,299万3千円
主な歳出	保険給付費	23億7,943万6千円		
	共同事業繰出金	13億6,937万5千円		
	後期高齢者支援金等	5億6,797万1千円		



後期高齢者医療特別会計

3億3,326万円(前年比 1,315万8千円 約4%増)

主な歳入	後期高齢者医療保険	2億6,844万8千円
	一般会計繰入金	6,421万3千円
主な歳出	後期高齢者医療広域連合納付金	3億1,241万4千円

(75歳以上の医療費等に使用される。)



水道事業会計

9億8,368万9千円(前年比 219万6千円 約0.2%増)

収入内訳	収益的収入	9億5,953万6千円	資本的収入	2,415万3千円
主な収入	水道使用料	6億5,421万2千円(給水戸数 1万2,049戸)		
	基地給水料	2億179万2千円(嘉手納・キャンプ瑞慶覧)		
支出内訳	収益的支出	8億6,857万3千円	資本的支出	1億4,521万2千円
主な支出	受水費	4億9,015万1千円(沖縄県企業局から購入)		



下水道事業会計

11億9,342万5千円(公営企業化により対前年度比が不可)

収入内訳	収益的収入	7億7,158万6千円	資本的収入	4億2,183万9千円
主な収入	下水道使用料	4億5,240万1千円		
支出内訳	収益的支出	7億4,829万6千円	資本的支出	5億8,264万9千円
主な支出	流域下水道維持管理負担金	3億2,145万2千円		



平成28・29年度 事業箇所

②桑江総合運動場改築事業

平成28年度:実施設計業務委託
(698万7千円)
平成29年度:運動場改修工事等
(7,140万4千円)



①北谷第二幼稚園園舎改築工事

事業期間:平成25年度～平成29年度
H25年度:2,415万円(基本設計)
H28年度:2,217万9千円(実施設計)
H29年度:園舎改築工事(予定)



④伊礼原遺跡保存整備事業 (補助率70%)

平成28年度:事業費(6,389万円)
平成29年度:事業費(3,047千円)



③町立博物館整備事業 (一括交付金充当事業)

平成28年度:事業費(7,439千円)
平成29年度:事業費(8,336万3千円)
平成28年度繰越分(7,948万8千円)
平成29年度現年度分(387万5千円)



⑤桑江伊平土地区画整理事業

総事業費:66億円(補助率90%)
平成28年度繰越明許:事業費(9,717万4千円)
[予算額:9,954万8千円]
平成28年度(現年):事業費(3億8,355万8千円)
[予算額:5億2,760万0千円]
平成29年度事業費:2億835万9千円



⑦浜川小屋外運動場改良事業

事業期間:平成28年度～平成29年度
平成28年度:604万8千円(実施設計)
平成29年度:4,279万円(整備工事)



⑥農業振興対策事業(町民農園整備)

事業計画:平成24年度～平成28年度 128区画
平成28年度までの整備工事費(4,944万1千円)
平成29年度(区画増設工事)20～30区画
整備工事費:882万3千円



⑩美浜地区無電柱化整備事業

全体事業年度:平成25年度～平成33年度
平成25,26年度:実施設計
平成26年度～平成33年度:電線共同溝整備工事
全体事業費:6億8,200万円
平成28年度:8,700万円(うち交付金額 4,350万円)
平成29年度:7,700万円(うち交付金額 ,3850万円)



⑮北谷城保存整備事業 (補助率80%)

平成28年度:2,172万1千円
平成29年度:2,830万3千円



⑭白比川線改修事業

平成28年度事業費:1,225万8千円
平成29年度事業費:県と設計・施行協議
平成30年度以降:県の護岸工事の進捗を
勘案し施行予定



⑬北谷公園野球場ブルペン 整備事業

平成28年度:1,013万1千円
(地質調査・設計業務)
平成29年度:ブルペン新設工事



⑫町営プール改良事業

平成26年度:(基本設計)365万4千円
平成27年度:(実施設計)1,380万3千円
平成28年度:(工事)2億4,169万8千円



⑪サンセットビーチ改良事業

平成27年度:(基本計画策定業務)987万円
平成28年度:(基本設計業務)3,000万円
平成29年度:実施設計業務(予定)



⑯特定駐留軍用地内土地取得備事業

28年度事業費:6億5,500万円
29年度事業費:1億円

⑰地域支援事業 (地域包括支援センター関連)

29年度事業費:1億337万8千円

⑱証明書等コンビニ交付事業

29年度事業費:4,117万1千円
交付対象証明書
「住民票、印鑑登録証明書、課税証明書、
所得証明書、戸籍証明書、戸籍の附票」

⑲北谷第二小学校改築事業

事業期間:平成25年度～平成28年度
北谷第二小学校改築工事～北谷第二小学校
併行防音事業
総額(23億6,003万3千円)

⑨フィッシャリーナ整備事業

平成28年度事業費:
3億7,932万7千円
平成29年度(予定)事業費:
6億3,420万2千円



⑧西海岸歩行者ネットワーク整備事業

事業計画年度:平成21年度～30年度
全体事業費:1億8,000万円(一括交付金)
平成29年度事業費:296万1千円(単費)
事業内容:港1号線実施設計業務委託



条例の制定・改正・変更



「条例の一部改正」

北谷町個人情報保護条例等の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律27号）の改正に伴い、北谷町個人情報保護条例（平成13年北谷町条例第18号）及び北谷町個人情報保護条例の一部を改正する条例（平成27年北谷町条例第13号）の一部を改正する必要がある。

北谷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び北谷町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に伴う介護休暇の分割、育児時間の新設及び地方公務員の育児休業に関する法律の改正に伴う育児休業等の対象となる子の範囲の拡大並びに一定の要件を満たした非常勤職員の育児休業取得を可能にするため条例を改正する必要がある。

北谷町行政財産使用料条例の一部を改正する条例

平成29年4月1日から北谷町の職員等に通勤のための車両を駐車させる場合の使用料の有料化に伴い、条例を改正する必要がある。

北谷町税条例等の一部を改正する条例

社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税及び地方交付税法の一部を改正する法律（平成28年法律第86号）が平成28年11月28日に公布及び施行されたことに伴い、北谷町税条例（昭和47年北谷町条例第44号）及び北谷町税条例等の一部を改正する（平成28年北谷町条例第19号）の一部を改正する必要がある。

北谷町新型インフルエンザ等対策条例の一部を改正する条例

平成29年4月1日から、都市計画課下水道係と水道課を統合した「上下水道部上下水道課」が設置されることに伴い、北谷町新型インフルエンザ等対策本部条例の一部を改正する必要がある。

北谷町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

北谷町営砂辺住宅C棟を追加するため、北谷町営住宅の設置及び管理に関する条例（平成10年北谷町条例第1号）の一部を改正する必要がある。

北谷町地区計画の区域内における建築物及び緑化率の制限に関する条例の一部を改正する条例

建築基準法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（平成27年政令第11号）において建築基準法施行令の一部改正が行われ、「建築基準法施行令第137条の18」が「建築基準法施行令第137条の19」に繰り下げられたため、本条例を改正する必要がある。

「規約の変更」



中部広域市町村圏事務組合の規約の変更

中部広域市町村圏事務組合で協同処理する事務に特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の指導監査に関する事務を加えるとともに、同組合規約の変更について協議したので、地方自治法第290条の規定により、議会の議決が必要である。



中頭地方視聴覚協議会規約の変更

中頭地方視聴覚協議会事務所の移転に伴い、同協議会規約の変更について協議したので、地方自治法第252条の6の規定により、議会の議決が必要である。

平成28年度

北谷町一般会計・特別会計補正予算

一般会計



補正額 3億5,161万5千円

予算総額 180億1,450万円

歳入予算：各種交付金の補正、国、県支出金等の補正、繰入金及び町債の補正

歳出予算：北谷第二小学校改築事業完了に伴う補正、建設事業費及び積立金の補正

国民健康保険特別会計



補正額 1,078万7千円

予算総額 48億9,234万円

歳入予算：交付決定通知等に基づく療養給付費交付金及び繰入金等の補正

歳出予算：決算見込みに基づく保健給付費の補正及び拠出額確定に伴う協同事業拠出金の補正

後期高齢者医療保険特別会計



補正額 846万8千円

予算総額 3億3,710万3千円

歳入予算：医療保険料、保険基盤安定繰入金の増額、事務費繰入金の減額

歳出予算：総務費の減額及び後期高齢者医療広域連合給付金の増額

公共下水道事業特別会計



補正額 1億999万8千円

予算総額 10億7,078万9千円

歳入予算：使用料及び手数料、分担金及び負担金、諸収入及び町債を減額し、繰入金を増額

歳出予算：総務費、施設費及び公債費を減額し、予備費を増額

陳情・抗議・意見書



日米地位協定の見直しに関する意見書

A 「航空機の離陸、着陸等の頻繁な実施により生ずる音響に起因する障害が著しい」と認めて指定する第一種区域の基準

Q Lテンでは夜(プラス)されるか、Lナイトとはどういふものか

A F15とF35の騒音の違いは
F35はF15の4倍(100dBを超える)

Q 住民が安心して暮らせる環境基準は環境基準に基づき策定された騒音コンタールでは嘉手納基地周辺の健康・睡眠・生活の質を守ることができない。沖縄防衛局も、防音工事で爆音がなくなっているとは思っていない。

A 防衛局は、騒音が軽減されているとの主張をしているが実際被害がある。

Q コンタールの見直しをすることによって住民はどのような影響を受けるか

A 防衛局は、騒音が軽減されているとの主張をしているが実際被害がある。

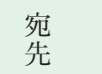
質疑と答弁



沖縄防衛局のコンタールに関する意見書



沖縄防衛局のコンタール見直しに関する要請書



宛先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣

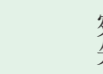
宛先 抗議決議が米国及び関連米軍機関。意見書が衆参両議員議長はじめ日本政府機関



米海兵隊のUH-1ヘリコプターによるつり下げ落下事故に対する意見書



米海兵隊のUH-1ヘリコプターによるつり下げ落下事故に対する抗議決議



宛先 抗議決議が米国及び関連米軍機関。意見書が衆参両議員議長はじめ日本政府



米海兵隊A-1H攻撃ヘリコプター不時着事故等に対する意見書



米海兵隊A-1H攻撃ヘリコプター不時着事故等に対する抗議決議



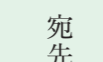
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

宛先 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣 外務省沖縄特命全権大使
沖縄防衛局長

指定管理者の指定

指定管理を行わせる公の施設
北谷町海業振興センター
指定管理者
株式会社沖縄日本管財
指定期間:平成29年4月1日から平成31年3月31日

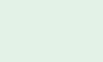
指定管理を行わせる公の施設
宮城屋内運動場
指定管理者
一般財団法人 北谷町地域振興センター
指定期間:平成29年4月1日から平成31年3月31日



宛先 内閣総理大臣 防衛大臣 環境大臣
沖縄防衛局長



嘉手納基地周辺地域における騒音コンタールの改訂作業の中止を求める意見書



宛先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 国土交通大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣 航空自衛隊那覇基地司令兼9航空団司令



自衛隊機事故の抜本的再発防止と那覇空港の民間専用化を求める意見書

大臣 内閣官房長官 財務大臣
総務大臣 厚生労働大臣

承認・契約・同意・報告



請負契約の変更

桑江伊平地区道路等工事(その1)請負契約変更

〔工事名〕 平成28年度桑江伊平地区道路等工事

〔理由〕 赤土等の流出防止対策のための追加工事と現況測量の結果に伴う土工数量の変更等、各工種において、現場精査で実施数量を変更による

〔改定額〕 536万7千600円

〔改定後契約額〕 1億159万5千600円

〔契約の相手方〕
住 所 北谷町字玉上2-18番地
商 号 崎原土建株式会社
代表者 代表取締役 崎原盛喜

宮城1号線改良工事請負契約の変更

〔工事名〕 平成28年度宮城1号線改良工事

〔理由〕 車道部・歩道部合わせて約250平方メートル
道路延長にして17メートルの道路整備追加工事

〔改定額〕 1千184万7千600円

〔改定後契約額〕 1億800万円

(追加増額分については、入札差金を活用)

〔契約の相手方〕
住 所 北谷町字上勢頭630番地6
商 号 有限会社 開成建設産業
代表者 代表取締役 池味光輝



請負契約

桑江伊平地区道路等工事(その4)請負契約

〔工事名〕 平成28年度桑江伊平地区道路等工事

〔工事期間〕 議決の日から平成29年10月31日

〔請負額〕 1億362万6千円

(財源については、全て保留地処分金による)

〔契約の相手方〕
住 所 北谷町字玉上2-18番地
商 号 崎原土建株式会社
代表者 代表取締役 崎原盛喜

専決処分

工事の設計変更に伴う請負契約の変更

〔理由〕 北谷町公共下水道改築工事(吉原第5工区)設計変更に伴い請負契約変更する必要が生じた

〔改定額〕 396万3千600円を減額

〔変更後の契約額〕 9千312万8千400円

平成28年12月22日に専決処分



報告

教育委員の任命



瀬名波 和美氏 教育委員の任期満了に伴い、新たに教育委員を任命する。

嘉手納 民子氏 教育委員の任期満了に伴い、新たに教育委員を任命する。

人権擁護委員の推薦



長濱 ミツエ氏 人権擁護委員の増員に伴い新たに推薦する。

固定資産評価員の選任



兼城 泰志氏 固定資産評価員の人事異動に伴い新たに評価員を選任する。

第457回～第459回

臨時・定例会 議決結果賛否一覧表

議案	議決結果	議席																		
		1 宮里 廣	2 高安 克成	3 友利 勉	4 喜友名 朝哲	5 喜友名 盛充	6 渡久地 政志	7 照屋 正治	8 亀谷 長久	9 大浜 ヤス子	10 仲栄眞恵美子	11 玉那覇 淑子	12 宮里 歩	13 與儀 誠	14 仲地 泰夫	15 阿波根 弘	16 目取眞 肇	17 金城 紀昭	18 中村 重一	19 田場 健儀
第457回 臨時議会																				
相次ぐ米軍機の重大事故に対する抗議決議	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
相次ぐ米軍機の重大事故に対する意見書	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
米軍人による道路交通法違反事件に対する抗議決議	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
米軍人による道路交通法違反事件に対する意見書	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
第458回 臨時議会																				
平成28年度桑江伊平地区道路等工事(その1)請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度宮城1号線改良工事請負契約の変更について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第459回 定例議会																				
平成28年度北谷町一般会計補正予算(第5号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町個人情報保護条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び北谷町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町職員の給与に関する条例及び北谷町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町行政財産使用料条例の一部を改正する条例について	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
北谷町税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町新型インフルエンザ等対策本部条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案	議決結果	議席																		
		1 宮里 廣	2 高安 克成	3 友利 勉	4 喜友名 朝哲	5 喜友名 盛充	6 渡久地 政志	7 照屋 正治	8 亀谷 長久	9 大浜 ヤス子	10 仲栄眞恵美子	11 玉那覇 淑子	12 宮里 歩	13 與儀 誠	14 仲地 泰夫	15 阿波根 弘	16 目取眞 肇	17 金城 紀昭	18 中村 重一	19 田場 健儀
第459回 定例議会																				
北谷町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町地区計画の区域内における建築物及び緑化率の制限に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町公共下水道事業特別会計条例及び北谷町公共下水道事業基金条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中部広域市町村圏事務組合の規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中頭地方視聴覚協議会規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度桑江伊平地区道路等工事(その4)請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外来機飛来及び嘉手納基地旧海軍駐機場の使用に対する抗議決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外来機飛来及び嘉手納基地旧海軍駐機場の使用に対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度北谷町一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度北谷町国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成29年度北谷町後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成29年度北谷町水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
平成29年度北谷町下水道事業会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
北谷町海業振興センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城屋外運動場の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日米地位協定の見直しに関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米海兵隊AH-1Z攻撃ヘリコプター不時着事故等に対する抗議決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米海兵隊AH-1Z攻撃ヘリコプター不時着事故等に対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米海兵隊のUH-1ヘリコプターによるつり下げ落下事故に対する抗議決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米海兵隊のUH-1ヘリコプターによるつり下げ落下事故に対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍人による道路交通法違反事件に対する抗議決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍人による道路交通法違反事件に対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自衛隊機事故の抜本的再発防止と那覇空港の民間専用化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度北谷町一般会計補正予算(第6号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北谷町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
沖縄防衛局のコンター見直しに関する要請書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嘉手納基地周辺地域における騒音コンターの改訂作業の中止等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
嘉手納基地周辺地域における騒音コンターの改訂作業の中止等を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

※議案賛成者は(○)とし、反対者は(×)とします。退席者は(退)、公務の欠席者は(公)、法定伝染病の欠席者は(病)、所用の欠席者は(欠)としています。議長は、採決に加わらないため斜線としています。法律により、採決に加わらない議案については(除)としています。



とくちまさし 渡久地 政志 議員

Q 消費者対策、産業対策を含め、地域として軽減税率をうまく導入できないか

A 軽減税率という側面ではなく、新たなコンテンツを発掘していき、活性化につなげていきたい

問 地方自治体としての、先進的提言、戦略的計画に取組む必要がある。見解を伺う

答 少なくとも都道府県単位、またはより広い地方単位での議論が必要であり、一市町村での特区実現は困難であると認識している。

問 これまでの成果と課題は

答 平成28年度から、「北谷町子どもの貧困対策庁内連絡会

子どもの貧困対策は

問 観光特区として軽減税率特区導入を調査研究し提言していくべき。企業誘致特区として、軽減税率特区を導入し、美浜メディアステーションを拠点としてコンテンツ産業誘致ができないか

答 「観光特区」と「企業誘致特区」の軽減税率導入については、一自治体での導入は、大変厳しいと思われることから、現在の制度をより使いやすいうように活かしていくことが重要だと思っている。

軽減税率の特區導入



メディアステーションへのコンテンツ産業誘致は

議」を設置し、新たな取組みとして、子どもの貧困対策支援員の配置、学習支援を通じた子どもの居場所事業「ちーたん塾」の開設、子どもの居場所支援事業による2カ所の居場所支援を開始。課題は、「子どもの貧困対策支援員事業」については、S・W（スクールソーシャルワーカー）から新規でつながる事例が少ないこと。「ちーたん塾」は、「要保護、準要保護に該当しない、ひとり親世帯児童への学習支援の必

要性」、「ちーたん塾への通塾の手段が確保できない児童への対応」、「当初の想定より手厚い支援を要する児童が多く存在すること」、「より早期の学習支援の必要性」。「子どもの居場所支援事業」は、上勢桑江児童館の調理場所の確保など。

問 今後、社会福祉協議会等の福祉分野が中心となった取り組みが必要。見解を伺う

答 平成29年度は、貧困対策



子どもの貧困と社会福祉協議会の取組みは

他に次の質問がありました

- ・公営住宅の避難訓練について
- ・ふるさと納税について



よぎまさこ 與儀 誠 議員

Q 浜川小学校のグラウンド整備の進捗状況は

A 3月9日に工期延長の改定契約を行い、完了予定は平成29年3月29日改定契約時点での進捗率は70.1%

教育行政を問う

問 浜川小学校のグラウンド整備の進捗状況を伺う

答 雨風の影響で表土の碎石が露出状態の、グラウンドの改修工事を行い教育環境の整備及び砂塵対策を目的として現在、浜川小学校屋外運動場整備工事を進め、3月9日に工期延長の改定契約。完了予定は平成29年3月29日。予定の進捗率は70.1パーセント。

水産業の振興を問う

問 プール整備及び倉庫、野外トイレ設置の進捗状況は

答 平成29年度は改築工事の為の設計業務を実施し、屋外倉庫、野外トイレ設置は、プール整備と一体的な整備が利便性の向上が図れるためプール整備と併せて進めて行く。

問 グラウンドの遊具設置の進捗状況を伺う

答 平成28年度に屋外運動場の整備が完了するので、引き続き平成29年度に遊具の整備を進めていく。

道路行政を問う

問 観光事業として生簀を設け、その後の進捗状況を伺う

答 平成25年度に一括交付金を活用し、北谷町漁業協同組合に海業観光資源開発事業として補助し整備当初はエイを11匹飼育した。環境の変化などに現在はエイ6匹とその他数種類の魚を飼育と報告を受けている。エイは、悪天候時のケガなどにより弱った事で国頭漁協に預け、事業主体である北谷町漁業協同組合の意向を確認して、調整。

問 昨年の3月議会で町道砂辺浜川境界線の道路拡張・改良



観光産業の資源としての海業へ期待!

問 砂辺馬場公園に向かう町道砂辺5号線の拡幅工事のその後の進捗状況は

答 道路拡幅目的での無償使用は困難であるが公園の駐車場としての無償使用は可能であるとの回答を得て、交通量も比較的多く、交互交通が困難な状況、砂辺馬場公園の新たな駐車場として整備をし、新設駐車場への進入路を工夫する。平成28年度に物件補償算定等の委託業務、平成29年度に物件補償及び用地買収、平成30年度に整備工事を行ない、平成31年度供用開始。

問 昨年、上勢区公民館において町道上勢頭55号線整備事業の説明会があり、その後の



砂辺浜川境界線の渋滞解消は

他に次の質問がありました

- ・砂辺馬場公園北側のビールの整備について

進捗状況は

答 当時で、平成28年度に物件補償算定等の委託業務、平成29年度に物件補償及び用地買収、平成30年度に整備工事を進め、平成31年度供用開始という年次ごとの事業計画の説明を行なった。現在、説明会での計画の通り事業が進んでおり、次年度から各権利者に対して個別の交渉を進め、物件補償及び用地取得の契約締結を目指して行く。



Q コンター見直しは中止すべきと考えるが、当局の考えは

A 騒音コンターが縮小されることがないように明確に反対している。今後も動向を注視しながら適切に対処していく

かめや ちょうきゆう
亀谷 長久 議員

問 航空機騒音測定について、北谷町には県設置の2カ所を含め、5つの測定基地が設置。その実態について伺う

答 測定結果については、年間平均Lden(エルデン)では、平成26年度から平成27年度にかけて5カ所の測定局すべてにおいて、同値または増加を記録。

問 同飛行場には、軍用機が常駐し日夜訓練を行なっており、加えて、外来機の飛来が常態化している。この現状を町当局はどのように受け止め、関係機関に対しどのように対応しているか

答 嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会(いわゆる三連協)において、機会ある度に嘉手納基地第18航空団、沖縄防衛局等関係機関に対し抗議・要請を行なっており、平成27年度から現在にかけて、航空機騒音に関わる5度の抗議・要請を行なっている。

嘉手納飛行場の第1種区域(「コンター」見直し)中止について



増える外来機騒音

問 新コンターが設置された場合、騒音コンターは縮小され、周辺住民の健康、睡眠、生活の質の保証に重大な影響を与えるものであり、今回の沖縄防衛局のコンター見直しは中止すべきものと考えますが

答 先般実施された宮崎県の新田原(にゅうたばる)飛行場周辺地域の騒音コンター見直しでは、大幅な縮小が見られた。嘉手納飛行場周辺地域の騒音コンター見直しにおいては縮小されることも懸念されることから、本町は中部市町村会の構成市町村らとともに要請文を決議し、騒音コンターが縮小されることがないように明確に反対しており、今後とも動向を注視しながら適切に

対処してまいりたいと思えます。

文化行政を問う

問 大洞系土器とは何か。土器の破片が平安山原(はんざんばる)B遺跡で発見されたことの意義について伺う

答 岩手県に所在する国史跡大洞貝塚(おおほらかいづか)から見つかったことに由来し、名称となっている。縄文時代は、文字もない狩猟採集の時代。沖縄から九州へ渡ることの厳しい時代だと考えられて



発見された亀ヶ岡系土器(大洞A式土器)

おり、その時代に遠く離れた東北との交流が伺えるような土器が発見されたことに対して、沖縄の歴史のみならず、日本の歴史的発見だと期待している。

問 発見された土器片は今後どのような活用、展開が考えられるか

答 各地の有識者から、「土器を見たい」と連絡を受けており、今後の有識者の意見、調査研究を進め、何らかの進展を図りたい。



Q 4期目に向けての出馬の意向を伺う

A 町民の皆様の御理解と御支援をたまわり、4期目に向け全力で頑張りたい

おおはま
大浜 ヤス子 議員

野国町長の4期目への出馬を伺う

問 就任して今年で12年目。就任以来、一貫して町民との「対話」と「協働」によるまちづくりを、町政運営の基本方針として推進してきた。4期目に向けての出馬の意向を伺う

答 就任以来、今日まで一貫して町民との「対話」と「協働」によるまちづくりを町政運営の基本方針として、公平、公正に民主的な行政運営に努め、3期目の就任に当たり、町民の皆様とお約束した公約「10大政策」(子どもの貧困対策における「ちーたん塾」の開設をはじめ、コミュニティバスの導入



準備が進むコミュニティバス停

念としての「生きる力」の育成は踏襲される。教育委員会においては、「スマイルプログラム」「アクティブラーニング(能動的な学びのある授業)」「支持的風土のある学級・学年づくり」の3つの教育施策を実施。これら3つの教育施策を

などの実現のために、誠心誠意、全力を尽くしてきた。町民一人ひとりが安全で、安心して暮らせる豊かな北谷町を築くために、町民の皆様の御理解と御支援をたまわり、4期目に向け全力で頑張っていきたい。

教育行政について

問 これまでの学習指導要領との違い、及び新たな指導要領について教育長の方針と本町の取組みについて伺う

答 現行の学習指導要領は「確かな学力」を礎とした知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」の育成が教育理念。一方、新学習指導要領は、教育の理念としての「生きる

総称で「北谷町学びのプロジェクト」として、新学習指導要領の趣旨を活かしながら、各学校の実態に応じて学力向上等の教育実践を充実させていく。

問 本町の小学校5年生の学級数と人数はどうなっているか。担当課としてどのような考えを持っているか

答 平成29年度において、町内各小学校で、小学校5年生まで35人の少人数学級編成を拡充していきたい。

問 本町の各小、中学校の不登校やいじめ及び早退の現状と対策について伺う

答 平成29年1月現在で、町内小学校の不登校児童数については9人、中学校の不登校生徒数については48人。いじめ



少人数学級編成への期待

の認知件数に関しては、累計で小学校184件、中学校16件となっている。早退については把握していない。

他に次の質問がありました
・認知症対策について
・環境美化について



なかし やすお 議員
仲地 泰夫

ふるさと納税の返礼について問う

平成29年度から、ふるさと納税代行業務を委託し、返礼品の送付を開始する予定、将来的に新たな産業創出と地域活性につなげたい

問 返礼品の開発、特産品の開発と、企画財政課、商工観光課、商工会との連携を問う
答 ふるさと納税に対する返礼品の選定は、企画財政課及び商工観光課が連携して取り組んでいる。返礼品の候補の8品目の内訳は、4品が平成28年度に北谷ブランドとして奨励認定された品で、その内4品には、商工会から紹介の品となっている。

問 平成28年度、直近で町民が、町外へどれだけ寄付して、全国から本町にどれだけ寄付があったか
答 平成27年中は町民がふるさと納税した額は137件で1千796万3千円、本町の税収から控除された金額は702万6千円。平成28年度にふるさと納税額は、199万7千円と15件あり。その内県外からのふるさと納税額は、2月末現在で3件、110万円。

ふるさと納税を問う

産業まつりを問う

問 産業まつりの狙いをどのように定めているか、今年度の参加実績、出展者数、出品者、最近の傾向は
答 出品数は、農産物が300点、農産加工品が16点、手芸品の部で30点となり、それ以外に福島県鏡石町や更生保護女性会、JA北谷支店、シルバー人材センターの出展をはじめ、苗木の無料配布等を行い、商工フェアは、商工会各部会員等による24の出展がなされ、手づくり木工体験



まちおこしを担う産業まつり

葬祭場建設について問う

問 火葬場問題がクリアした今、町内にコンパクトな低所得、低料金の公共葬祭場の必要性について問う
答 公共葬祭場を設置していない近隣市町村の動向を考慮しつつ、今後の研究課題として取り組みたい。

問 葬祭場がないために、大きな町民負担になっていないか問う
答 国民健康保険に加入者に



読谷葬祭場新設で火葬場問題はクリア?

や建築機械の操作体験、講習会が行われた。
問 C-1ちやたんグルメバトルのグランプリも一緒に考えているか、町内の企業が出展しやすい方向で運営してほしい、当局の考えを問う
答 今後のC-1ちやたんグルメバトルは現時点では別の時期開催になるものと考えている。町内企業の出展は、産業総合展示会での農産物をはじめ、各種出品は町内各自治会を通して町民の出品を受け付けている。

- 他に次の質問がありました
- 美浜遊歩道への健康遊具の設置について
- 砂辺海岸の突堤整備について
- 国民年金について



てる や まさはる 議員
照屋 正治

平成28年度沖縄県学力到達度調査結果は

小学校3年生国語以外と中学校2年生国語、そして1年生数学と2年生社会以外は、全ての学年、教科において昨年度に比較して改善傾向にある

教育行政を問う

問 学力到達度調査結果の今後の課題と取り組みを問う
答 小学校ではわかる授業の改善と学習指導方法及び指導体制の徹底、運動を通じた取り組みが重要である。中学校では、学級間、教科間指導方法や指導体制に課題がある、教科部会、学年部会での授業づくりを視点とした取り組みが求められる。



少人数編成でわかる授業を

北谷町車両管理規程等を問う

問 役場公用車の公務外使用

基準を問う
答 北谷町車両管理規程第10条第3項に規定、行政に直接関係する公共団体又は任意団体等に貸し出しが出来る。

問 公用車の公務外借用(時間外・土日・祝日)の状況。また、近隣の市町村の使用基準及び借用状況を問う
答 本町公用車の公務執行以外の土曜日、日曜日又は祝日の貸し出し状況は、自治会や学校に関連する団体へ貸し出しの事例がある。近隣市町村では、その市町村内にある団体に、貸し出し。

問 公用車の車両台数と保険内容を問う
答 町管理の、公用車は63台、一般財団法人全国自治協会の自動車損害共済協会に加入している。町が貸し出しを許可した場合に限り、公務執行中と同様の補償が受けられる。

観光産業等を問う

問 イメージキャラクター「ちーたん」の着ぐるみを作成し様々なイベントで活用す

るとあるが、具体的な予定はいつか
答 平成29年度は、イメージキャラクター製作委託業務を実施する予定。業者の選定を経て、「ちーたん」立体像、着ぐるみ制作に着手、デザイン及び運用を検討していく、お披露目は、年末から年明けにかけて予定。

問 東京オリンピック、パラリンピックの開催を見据えスポーツキャンプ・合宿・大会・イベント等の誘致受入を行うとあるが、本年度のキャンプや合宿の状況を問う
答 平成28年度に、本町の施設をキャンプや合宿に利用した団体は、国際サッカーキャンプ実行委員会によるサッカーキャンプ、野球では中日ドラゴンズの秋季・春季キャンプ及び、愛知県の名城大学や学校野球部を含む7団体、ソフトボールでは実業団のビツクカメラ女子ソフトボール高崎、陸上では甲南大学陸上部、その他全日本ボウリング協会等、計12団体、総勢延べ1,000人以上、施設を利用した。



観光産業の目玉の一つスポーツコンベンション

問 外国人観光客への対応で、近隣諸国を中心に観光物産プロモーションによる誘客活動に取組み、具体的な内容を問う
答 クルーズ船による寄港が伸び、中国・香港について、中部広域市町村圏事務組合と連携し、寄港歓迎事業や直接乗船し、クルーズ船内でのプロモーションを展開していく。



Q 上勢保育所の遊び場に日よけの設置は出来ないか

A 現場の状況を精査し、必要に応じて日よけの設置を進める

き ゆ な もりみつ
喜友名 盛充 議員



上勢保育所日よけ設置が待たれる

問 待機児童になった第二子を認可、認可外問わず保育料半額等の保育料助成は出来ないか
答 第一子が認可保育所に入所し、第二子が認可外保育施設を利用した場合、月額2千円の助成を実施している。認可外保育施設は、利用者によっては認可園に比べ保育料が高額となり経済的負担も大きい。ため、さらなる

子ども・子育て支援、保育士確保対策を問う
問 年齢別の待機児童数及び保育士が確保できず待機児童になった児童数を年齢別に伺う
答 平成29年度の入所申し込みは、現在、正確な人数は算出できていない。保育士不足により昨年度の41人より増える見込み。

問 保育士の子供優先入所、家賃補助、給与アップを町独自で行えないか
答 保育士については優先入所の対象。家賃補助は、他自治体の実施状況等を参考に研究する。給与に関しては、認可保育所について、単独補助を行っている。公立保育所の非常勤職員については、他市町村の状況も参考に研究し、人事部局、財政部局と協議する。

問 無認可保育園の第三子無料の実績を伺う
答 平成26年度5件、平成27年度6件、平成28年度2月末時点で3件。

問 町道砂辺浜川線と浜川千原4号線交差点の安全対策は策について

問 砂辺地域の津波震災対策は砂辺区の津波一時避難施設
答 7カ所への避難。嘉手納基地内へ避難訓練を行い周知を図っている。

問 避難所は耐震基準を満たしているか
答 町の公共施設・避難所で耐震基準が制定された1981年(昭和56年)以前の建物は、桃原公民館及び北谷第二幼稚園で、桃原公民館は基準を満たしており、北谷第二幼稚園は、平成29年度に改築予定。津波一時避難施設の民間建物は、新耐震の建物であり、耐震基準を満たしていると考えている。



危険な交差点を安全に

問 砂辺の宮城解体から国道58号線までを改修できないか。また右折の矢印信号機の設定は出来ないか伺う
答 管理している沖縄防衛局と協議し対応を図る。信号機の調整も含めて沖縄警察署に要望する。



Q 学校近くの道路に「よーんなあ」の文字が路面に表示出来ないか

A 安全を確保する事を目的とし「ゾーン30」を沖縄県公安委員会が指定し、最近、最高速度30kmの速度規制を路面標示、規制標識が設置した

みや ざと ひろし
宮里 廣 議員



横断歩道の白線の改善を

問 防災士育成の取組
答 防災士は、災害時における地域のリーダー的な役割を果たす期待ができ、各自治体でも防災士の養成支援

問 町内小中学校に「わがまち自慢」をテーマにカラフルな壁画の数々を創意工夫して出来ないか伺う
答 学校は子どもたちを主体とした教育活動の場であることを考えて、各学校の主体性を活かし掲示教育などを考える必要があることから調査・研究事項とする。

護岸壁面コンクールについて

問 災害弱者支援について問う
答 災害弱者支援は、地域で共に支えあう共助の精神が重要になっていく。各自治会、自主防災組織や各団体等と連携を図りながら取組んでいく。



護岸壁面コンクールへの期待

問 コンクールを実施することにより、地球の環境改善にも役立っていくと考えるが当局の見解は
答 全体的に教職員の業務改善、授業時数の確保等の課題がありますので、行政からの働きかけは厳しい現状にある。

他に次の質問もありました
・観光振興について



Q 民泊新法の「住宅宿泊事業法」とは

A 従来の旅館業法の営業形態に当てはまらない新しい「民泊営業」に関して規制する法律

ともり 友利 勉 議員

①「家賃等補助」は公的施設に移行計画の移行まで、家賃を補助、補助率は国10分の8、県10分の1、町10分の1であり、家賃等の月額5分の4以内、上限月額8万円。②「環境改善補助」は、市町村計画で、公的施設活用困難な民間施設の老朽化に伴う改修及び修繕経費補助。補助率県95分の90、町

一般質問

95分の5、基準額は、児童数10人以上のクラブ100万円、20人以上のクラブ200万円。
問 本町で申請、実施事例は
答 環境改善補助を平成23年度1件、平成27年度1件。
問 町の放課後児童クラブ数と利用料金等の現状は
答 放課後児童クラブ数は6カ所、民立5カ所、公立1カ所。利用料金は、民立クラブが月額1万2千円から1万3千円、公立が8千円。
問 放課後児童クラブ利用者への支援施策は
答 公立、利用料の減額。ひとり親家庭及び必要保護世帯は月額から5千円の減額、必要保護世帯は、2千円の減額を実施。民立は、ひとり親家庭等に対し児童保育料を減免の場合、減免金額を補助。基準額は利用児童一人、月額利用料の2分の1以内、5千円内
問 放課後児童クラブで公的施設を利用希望の相談、問い合わせ状況は
答 2カ所が学校敷地内の専用

安全・安心のまちづくりは



放課後児童クラブへの支援は

問 民泊新法「住宅宿泊事業法」の内容を伺う
答 従来の旅館業法に当てはまらない、「既存の住宅を活用した宿泊の提供」の「民泊営業」を規制する「自治体による民泊禁

他に次の質問がありました
・町長選挙について
・北谷町五次総合計画について



Q 町道桑江中央線沿線の用途変更の進捗状況を伺う

A 平成29年度予定の北谷都市計画マスタープランの中間見直し業務で検討する

あはこん ひろし 阿波根 弘 議員



整備が進む桑江伊平土地区画整理地区

また、保育所数も、平成17年度の6カ所から、平成27年度には8カ所とし、保育定数も450人から830人に増員。新たな財源確保は、観光及び商工業振興策による税収増、桑江伊平地区、区画整理による新たな商業施設及び家屋の増加に伴う税収増や町税徴収率の向上等財源確保策に取組む。また、大型施設整備は、国

一般質問

問 行財政の合理化、事務事業の見直しについて町長の決意は。又、必要な財源確保策を伺う
答 自主財源の柱となる町税は、平成17年度から平成27年度までに約19億8千700万円増で72%の税収の伸び。財政力指数が、平成17年度の県内7位(0.53)から平成27

年度では県内で那覇に次ぐ2位(0.73)となっている。財政の健全化のため、地方債残高の削減で、平成17年度末の約99億円から平成27年度末は約66億円に削減。県内市町村で2番目に少ない額となった。歳出面では、職員のコスト意識の向上、職員数を平成17年4月1日、252人から平成27年度4月1日、241人に削減し経常収支比率を87.7%から80.1%に低減。平成17年度に比べて弾力的な町政運営ができる財政状況となった。

平成17年度の6カ所から、平成27年度には8カ所とし、保育定数も450人から830人に増員。新たな財源確保は、観光及び商工業振興策による税収増、桑江伊平地区、区画整理による新たな商業施設及び家屋の増加に伴う税収増や町税徴収率の向上等財源確保策に取組む。また、大型施設整備は、国

町有財産について

問 町有の普通財産、軍用地、道路の残地、里道等処分可能な土地の面積、筆数、貸し付け収入、軍用地料、過去10年間に処分した軍用地の面積、軍用地料の推移を伺う
答 軍用地を除く町の普通財産は、町内で約30筆、面積は約2.3ヘクタール、今年度の普通財産の貸し付けは、21件で約220万円。町が所有する町内の軍用地は約200筆、面積は約7.5ヘクタール、年間軍用地料は、約1億700万円。町外の軍用地は約50筆、面積は約72.6ヘクタール、軍用地料は年間約1億8千700万円。軍用地料の推移は、平成19年度の約2億1千500万円から平成28年度の約2億9千400万円に上昇。平成19年度の以降軍用地の処分はない。道路残地の処分は、



里道及び水路の利活用を

隣接する地権者等からの申請で現地調査を行ない、用地処分の判断している。里道及び水路については地方分権一括法の施行で、国から譲与を受けており、里道及び水路の処分は、利活用の状況を勘案し処分。

他に次の質問がありました
・学校教育について
・用途地域の変更について



喜友名 朝啓 議員

北谷漁港内に防犯、防災カメラを設置する考えは

A 本町では、平成29年度防犯灯・防犯カメラ等緊急整備事業に交付申請予定であり、交付決定後に整備を行う予定



行政主催のサーフィン大会は？

一般質問

問 西海岸防犯防災事業を問う
問 砂辺区、砂辺馬場公園の堤防から宮城区、港公園まで、防犯、防災カメラを取り付けられないか
答 平成29年度に内閣府の補助事業として「防犯灯・防犯カメラ等緊急整備事業」が実施されるとの説明を受け、施設等の所管課や沖繩警察署とも意見交換等を行いながら設置場所を検討し考えていく。また、防災カメラについては、台風時の高潮や津波警戒時において有

問 宮城区、港の沖合にある西防波堤から、ヒルトンホテルに橋を架ける案を質問したが、再度問う
答 建設コストや将来継続的に発生する維持管理費等の課題も多く、現段階においても整備は大変厳しい。
問 宮城海岸では、各団体にサーフィン大会を開催しており、県内外からも多くの集客があることから、行政主催のイベントとしての考えはないか
答 サーフィンについても、2020年東京オリンピックで正式に追加種目となっており、本町においても、海浜を利用した様々なスポーツイベントをあらゆる側面から支援して行く。
交通安全対策を問う
問 去年12月に小学校の通学路である町道砂辺浜川線と町道浜川千原4号線の交差点において人身事故が発生した事

問 公民館建設を問う
問 宮城区公民館を新設するための条件は
答 防衛施設周辺対策事業補
問 宮城区公民館を新設する
答 防衛施設周辺対策事業補
問 公民館建設を問う
問 宮城区公民館を新設するための条件は
答 防衛施設周辺対策事業補



建て替えが望まれる宮城区公民館

問 一般的に公民館を新設するためには、どのような要件があるのか
答 公民館活動の効果を高めるため、人口密度、地形、交通条件、日常生活圏、社会教育関係団体の活動状況等を勘案して対象地域を定める。



宮里 歩 議員

母乳育児受け入れ状況を問う

A 公立保育所、認可保育施設では、母乳育児の実施はない

一般質問

問 子育て支援を問う
問 妊婦健康診査は母子手帳をもらっても受診しない方がいないか
答 母子保健手帳交付後に未受診の方はいない。
問 母乳育児の現在の町立保育所、認可保育所、認可外保育所の現状と、近隣市町村の受け入れ状況を問う
答 町の公立保育所、認可保育施設では、母乳育児の実施はない。認可保育施設4カ所、小規模保育施設4カ所は、希望があれば対応可能。認可外保育施設では3カ所で実施。近隣の沖縄市、北中城村の公立保育所で実施事例がある。
問 つぼみっこ保育園の19時から22時までの受け入れ利用実績がないが、利用周知方法とニーズと受け入れ体制を問う
答 保育所入所案内のパンフレットで、保護者の勤務時間に応じて22時までの延長保育を実施予定と記載し周知。在園児ニーズ調査で要望なく職員配置等の受け入れ体制はない。入所申込受付時に夜間保育の

希望者がいれば、園と調整を行なう必要がある。
問 政府の待機児童ゼロが、事実上断念の中、県議会では来年3月までに引き続きゼロに向けて取り組む姿勢。町はいつまでにゼロにする考えか
答 事業計画に基づき、保育を必要とする児童に対応可能な保育定員数の確保を図っていく。
問 育休中は待機児童数のカウントに含まれないとあるが、定義についての見直し考えの必要性を問う
答 国の統一した定義で、各自自治体の待機児童数の適切な把握や比較が可能となり、その必要性は高い。
問 子ども医療費の貸付制度の実施状況は
答 平成29年3月現在の貸付実績は1件。
問 厚労省は子ども医療費現物給付に2018年度から未就学児まではペナルティーを廃止する方針決定。町は、中学校卒業まで入院・通院共に無料化実施中だが、窓口無料化

を高校卒業までの拡大を求め、見解を問う
答 現在、高校卒業までに拡大する計画はないが、子ども子育て支援計画の基本目標を実現するため、医療費無料化の課題への対策を重点的に実施していく。
問 国は今年度の新規事業①「入園予約制」や②「サテライト型小規模事業」を導入予定、内容を問う
答 ①は0歳児及び1歳児の受け入れ枠を予め空けて、育休明けの入園予約を可能とする②は小規模保育事業所との接続を積極的に実施し、3歳以上児の受け入れを重点的に行なう

認可保育所に対して、要する費用の一部を補助する。
LGBT施策を問う
問 県内の市町村でLGBTに関する取組みが活発化。本町の現在相談したい人がどのような状況か、相談窓口の設置の必要性等、どう考えているか
答 北谷町男女共同参画推進条例を反映した施策内容で人権擁護の観点から性の多様性に関する普及啓発に一層努めていく。町ではLGBT等に関する相談事例ない。相談があれば相談窓口を紹介する。





Q 沖縄県のモデル事業に那覇市等が手を挙げていますが本町は

A 機構改革に向けて調査研究を進める

たまな は ひて こ
玉那覇 淑子 議員

問 沖縄県のモデル事業に那覇市等が手を挙げていますが本町は

答 現在の子育て世代に関わる保健、及び福祉の相談体制の評価を実施し、機構改革に向けて調査研究を進める。

問 妊婦が抱える問題について、妊娠SOSの発信と支援機関の体制の構築は

答 妊娠届出の機会に面談を

問 事業内容は

答 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の提供を目的に妊娠・出産・育児に関する相談・支援を行う事業。



健やかに育って欲しい子ども達

子育て世代包括支援センター事業を伺う

一般質問



Q ふるさと納税の本町の取組みとスケジュールは

A 今年度から返礼品送付を実施予定

め どり ま は じ め
目取眞 肇 議員

問 本町の取組みとスケジュールは

答 12月定例会で、ふるさと納税代行業務受託者を「株式会社さとふる」と決定し、返礼品を選定中。今年度から返礼品送付を実施予定。

ふるさと納税を問う

一般質問



ちやたんブランド推奨認定ポスター

問 北谷ブランド認定事業とは

答 今年2月に「北谷長老長期熟成古酒25度」「沖縄北谷の塩」「サンニンの詩」「オキチユウ(沖忠)オリジナル島ぞうり」が、特産品・町産品・工芸品として認定登録され「北谷の産業まつり」で認定式を行った。本町の特産品、町産品、工芸品のほか、自然・観光景勝地、歴史文化・民俗芸能等、地域資源や地域の魅力を町内外へ発信し、観光

本町の観光産業は

問 インバウンド観光の取組

答 観光協会主体に台湾、韓国でプロモーションを展開。沖縄県、沖縄観光コンベンションビューローと連携し進行中。クルーズ船の対応は、中部広域市町村圏事務

振興に寄与する物を認定登録する。

問 使い道の検証は

答 制度の趣旨に則った導入方法を検討。使い道は、北谷町ふるさと応援基金条例第3条に規定され①人・自然・地球にやさしいまちづくりに関する事業②町民の健康増進・生きがいづくりに関する事業③将来を担う子どもたちの育成に関する事業④歴史、文化その他の地域資源の保存及び活用に関する事業⑤町の活性化に関する事業⑥その他町長が必要と認める事業とし、寄付者自ら当該事業から選択可能。

実施する等、妊婦の状況把握をし、保健相談センター地区担当保健師へ情報提供。要支援妊婦には、地区担当保健師により、相談支援や保健指導を実施。妊娠・分娩・育児に関する正しい知識の普及を目的に、両親学級を開催時に、妊婦への相談支援も実施。

民生委員・児童委員・母子推進委員等の活動支援は

問 本町の各委員の定員数、充足率は

答 民生委員・児童委員定数48人。平成29年3月1日現在38人委嘱。充足率79.2%。母子保健推進員は、平成29年3月1日現在21人委嘱。

問 地域を担う人材の確保、委員の活動活性化を図る支援

答 平成26年度より民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会及び福祉課で、三者連絡会を毎月開催。民生委員の活動状況や課題を把握し支援。補助金交付し、活動の充実を図っている。

学校の防犯対策について

問 本町の動向は

答 不審者侵入対策として、各小中学校に学校用務員を配置し、校内巡視実施。各学校では、必要に応じた校門の閉鎖、来訪者の受付を行い、子どもたちの危機回避能力育成のために避難訓練等の防犯教育を実施。登下校時の安全確保は、所轄の警察署、教育委員会及び学校等の関係機関が連携して不審者情報を共有し、子どもたちへの安全指導にあたっている。学校の教職員には、不審者対応に関する研修会等を実施し、危機管理意識の啓発に努めている。施

問 海外プロモーション事業について日本政府観光局JNTと連携は

答 本町は、JNT認定の外国人観光案内所「観光情報センター」を有し、月毎に外国人観光客数の報告を行い、全国の外国人観光旅客の受入対策情報も得ている。JNTとの情報共有により、本町の誘客事業や

組合と連携し、寄港歓迎事業や直接乗船し船内でのプロモーションを実施。プロモーションでは、本町の情報発信・アンケート調査を実施し、おもてなしの向上と利便性を高めていきたい。



インバウンド観光への対応は

問 商工会・民間事業者等との情報交換・連携を含む取組みは

答 美浜アメリカカンピレッジのデポアイランド通り会を主軸に「エンターテイメント・パークシティー推進プロジェクト」を実施。町、商工会、観光協会が連携し、事業の実施と人材育成、町の魅力を伝える演出と環境整備を行った。

他に次の質問がありました

- 子どもの貧困と関係団体について



カメラで防犯対策

問 学校で防犯カメラ等の設置は、本町でも必要と考えるが検討は

答 不審者侵入の予防に対して有効性は認識しているが、用務員の配置等、効果的で総合的な防犯対策を行っており今後、調査・研究。

他に次の質問がありました

- 男性の育児啓発父子手帳の導入について
- 旧姓の通称使用について



たかやす かつなり
高安 克成 議員

情報公開条例・文書取扱規定の改正の内容に疑問

A 国の公文書管理法の規定にあわせた改正

問 庁議の傍聴や議事録個人情報を伏せ全公開と音声データの視聴も技術上問題ないと思うが実施の考えは

答 庁議議事録は、条例に規定する非公開情報部分を除き作成、ほぼ全文情報公開。

問 破棄対象物を含めデジタル保存の検討は

答 保存期間や媒体の経年劣化による更新費用の問題、データの維持更新に係る作業量の面から課題が多い。

情報公開条例を問う

問 改正後、年限超の文書の廃棄前提は、重要文書の誤廃棄も懸念されるが秘密文書の閲覧制限の内容と実績は

答 誤廃棄は、主管課の点検で防止、永年保存とは別問題。「内容の秘密保全が必要なものを所管課長が指定。(例)採用試験問題、入札予定価格、住民個人情報に関する文書等。業務上、関係職員が限定利用。秘密文書の、情報公開請求は、情報公開条例第7条の規定で可否を判断。



なかむら しげかず
中村 重一 議員

日米地位協定のどこが問題だと考えるか

A 裁判権や環境保全の問題、跡地利用の問題など数多くある



ちーたん塾で学ぶ喜びを

町長の施政方針と平成29年度予算について

問 「10大政策」のほとんどを達成することができたとしているが、具体的内容を伺う

答 子どもの貧困対策における「ちーたん塾」の開設をはじめ、中学卒業までの通院費無料化、

待機児童解消に向けた認可保育園の新設等の保育の受け皿の拡充、小中学校に在籍している第三子以降の児童生徒の学校給食費の全額補助、各種予防接種の一部公費負担や無料化、特定不妊治療費の助成、コミュニティバスへの導入など、安心して子どもを産み育て、豊かに暮らせる環境整備に取り組んできた。

問 「まちづくり町民会議」等を設置し、各種施策を実現させていくとしているが、組織、体制など、どのような方針のもとに設置されるか

答 第五次北谷町総合計画基本構想及び前期基本計画策定時に広く町民の皆様から意見を頂くために設置。

問 日米地位協定の抜本的改定が最も重要な課題だと考えるか

答 建設替えにより学校給食がどのように改善されるか。食育の観点からも伺いたい

答 改善は、最新の学校給食衛生管理基準に基づき、フルドライシステムを導入。衛生管理の効果の高い調理場となる。

問 建設から約40年になる給食センターの早期建て替えが求められているが、いつまでに完成させる計画であるか

答 平成28年度の繰越により基本計画の一部再検証を含む基本設計を実施する予定。その後平成30年度に実施設計、平成31年度に着工、平成32年度に供用開始を見込んでいる。

問 建設から約40年になる給食センターの早期建て替えが問題だと考えるか

答 今なお米軍や米軍関係者に対し、基地の運用や事件事故の際に日本国の法令の適用を除外する特権的地位が与えられていることから、騒音被害や環境問題など、様々な事件事故の根本的な原因になっているものと考えます。



子ども達の安心安全な給食のため

食育の観点からは、食器の改善、食物アレルギーを有する児童生徒に対し、対応した給食を提供できる特別調理室を整備、給食センターの調理過程を見学できる研修・会議室を設け、町内の子ども達の食に対する学びの場として活用。

他に次の質問がありました

- 子どもの権利条例の制定について
- 就学援助金の入学前支給について
- 町役場嘱託・臨時職員の待遇改善について



情報公開条例が変わったら

声データで公開可能な内容を議事録文書として公開。傍聴は今後の研究課題として検討していく。

問 請求後、2カ月経って公開され、現用文書として開示されない文書がある。個人情報含まず、全公開が前提の中、チエック体制はどうか。担当のみの責任か

答 請求内容で、相互確認が不十分なため、請求文書と公開文書に差異が生じた。公文書公開は、条例の規定で、公開決定者の所管課長が、適切に対処する。

問 事業の再検証の前提条件の内容の確認、事前調整が必須とされているが、地位協定のどこが問題だと考えるか

答 今なお米軍や米軍関係者に対し、基地の運用や事件事故の際に日本国の法令の適用を除外する特権的地位が与えられていることから、騒音被害や環境問題など、様々な事件事故の根本的な原因になっているものと考えます。

問 食育の観点から、見学路や、食器も再検討すべきと思うが見解は

答 見学路は基本計画の策定を基本設計に反映、食器は特に低学年の児童の負担や安全面等にも配慮し、PEN(ポリエチレンナフタレート)を選定。

問 人口動態調査で必要食数を検討したが結果は

答 町長部局の最新の資料をもとに、再検証し報告する。

問 防災用米の保管量、費用、消費期限、購入サイクル等は

答 防災用米類は、2,700食分保管。約56万円で消費期限製造日から5年。サイクルは保管の米類の消費期限の年度に予算計上。

問 平成28年定例議会で給食費の全額補助予算は1億1千万と答弁。実現可能性は



給食センター建設事業予定地 (ポリテクセンターグラウンド)

答 1億円超の給食費の全額補助は、財政部局と協議の必要、調査研究したい。

他に次の質問がありました

- 非正規雇用の処遇問題
- 待機児童・保育問題
- 要支援者避難計画について
- IOT等の本町の取組み
- コミュニティバス問題
- 漁業への関わりについて

今回、宇地原区琉舞サークル「はなずみ会」の皆さんに議会傍聴の感想を伺いました。



小渡光子、伊波清子、上間ヨシエ、仲村亨、宮城常子、宮城フミ子、大城和子、渡嘉敷節子、比嘉米子の皆さん(左から)

●議会傍聴のきっかけは

自治会長Ⅱ初めての傍聴に行く企画で、呼びかけにボランティアの会の多くの会員の皆さんが参加して下さいました。

●議会を傍聴した感想は

はなずみ会Ⅱ傍聴は初めてでも緊張しましたよ。実際に傍聴して感動しました。

真剣に討論されて、議会広報で読む議事録とは比べ物にならない緊張感がありましたね。

議員の皆さんが普段は何をしているのか疑問もありましたが、傍聴して議員の皆さん大変だと思えました。ほんとに、多くのことを勉強して臨んでいるのだと分かりました。傍聴してとてもよかったです。現場(議場)は凄いいましたよ。

(皆さん「同じです。」と口々に答えていました。)

各人にマイクをつけたらどうですか。

一般質問にもありましたが、シャトルバスの運行はいつからですか。シャトルバスが走ると、老人センターやニライセンターに行くのがとても便利になります。それに病院へ行くのも大変助かります。とても待ち遠しいです。

傍聴してみても初めて、公民館のテレビでの中継よりはるかに、議員と行政とのやり取りの状況がわかりました。

定例議会は年に何回ありますか。(年4回です)是非また傍聴したいですね。個人では行くにくいので、団体でまた行きたいです。

●行政や議会に臨むことは

はなずみ会Ⅱ環境の整備ですね。宇地原区は樹木が多く公民館からホース井戸(ガー)の間はハブがよく出るし、最近、野犬や不審者もいて大変です。暗い所には街灯が欲しいです。ごみの不法投棄もあります。区長に看板の設置をお願いしました。

議員の方から町民に声掛けするのは大事だと思います。

●議会広報への要望は

はなずみ会Ⅱ広報はよく読みますよ。特に要望はありませんが、文字が小さいのは読みづらいですね。

自治会長Ⅱ初めての試みでしたが、好評でした。また企画したいです。

「はなずみ会」の皆さんありがとうございます。

他行政区の皆さんもぜひ議会傍聴へお越しください。

平成29年度6月定例会議に傍聴へ行こう!!

平成29年6月13日(火)開催予定

本会議を行う議場では、手話通訳を御利用になれます。

●手話通訳は、傍聴予定日の7日前までに議会事務局へお申込み下さい。

詳細は北谷町ホームページ検索サイトで!!

HPアドレス:<http://www.chatan.jp/chogikai/>

インターネットで町議会を知ろう!!

議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

北谷町HP
北谷町議会

北谷町議会 検索



あなたも町議会を傍聴してみませんか?

お意見・ご感想又は、お問い合わせ

議会事務局



(098) 936-3382



(098) 936-9712

編集後記

新年度も始まり、街中に小さな体で大きなランドセルを背負うピカピカの一年生を見かける季節がやってきました。かわいらしい笑顔や元気な声が聞こえ、見ているこちらも笑顔にさせられます。

北谷町議会は、第459回3月定例会が3月2日から3月27日まで開催され、平成29年度140億余の予算が原案通り可決されました。町長からは施政方針が示され、議員共々、誰もが住みよい住みたくなる街づくりへと頑張りたいと思います。

今定例会では、第10代議員において過去最高の16人が一般質問に登壇し、北谷町における諸問題の解決や明るいまちづくりに向けた提言等、活発な議論が展開されました。

広報委員として編集に関わり、限られた範囲で伝えることの難しさを痛感していますが、町民の生活に密接に関わる施策や議会の取組み等をしっかりと伝えられるよう、また興味を持つて頂けるよう、改めて頑張りますので、これからも宜しくお願い致します。

町民の皆さまのご意見・ご感想、そして議会への傍聴もお待ちしております。

議会広報調査特別委員会

委員 高安 克成